

架け橋



JICA 海外協力隊 2021 年 1 次隊

ナミビア 小学校教育

ウサコス エロンゴサ小学校

川畑 舞



第 8 「ウサコス教員研修会」号

1、ウサコス教員研修会

今回は、ウサコスの先生を対象に実施した研修会の様子についてお伝えします。

研修会は二部構成で、前半はたし算の理論、後半はたし算の実践（活動）についてそれぞれ紹介をしました。隊員の中で、理論（知識）のみを身に付けても実践（実際の指導）に結び付かず、実践（授業で使える活動）のみを紹介してもその目的を理解せずに指導することはできないという話になり、このようにしました。研修会は誰から頼まれた訳でもなく、あくまで隊員の自発的な活動として実施します。私たちはこのような活動を続けることで、ナミビア共和国の発展（子供たちの成長）に繋がっていくことを切に願っています。

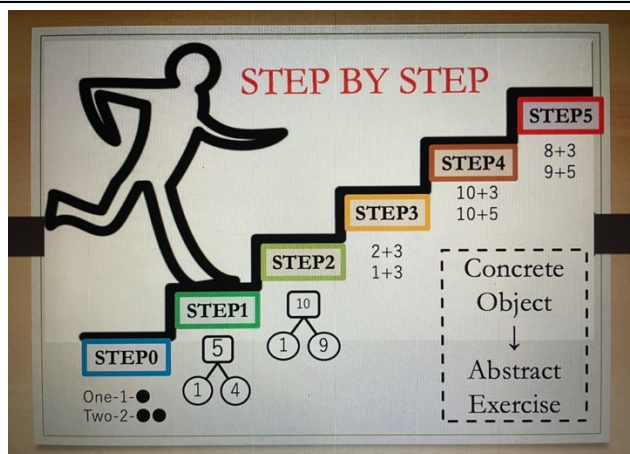
それでは、それぞれの隊員がどのような内容を話したのかを詳しくお伝えしていきます。

1 吉谷隊員（たし算の理論紹介）



日本の教科書を紹介したり、算数（たし算とひき算）の系統性について説明をしたりしました。例えば、次（2）の写真のような内容です。

2 たし算の系統性（STEP の紹介）



初めにいち（文字）と●（具体物）と1（数字）が結び付く。次に数の分解ができる。最後にたし算の計算ができるというステップです。

3 菅原 隊員 (STEP0 の実践紹介)



児童にカードを配り 1 から 10 まで順番に並べたり、先生が言った数字のカードを取ったりする活動を紹介します。実際に隊員が先生役、先生方が児童役となってモデルを示しました。

4 中川 隊員 (STEP1 の実践紹介)



数の分解 (5 は 1 と 4、2 と 3 など) の活動を紹介します。児童にペットボトルキャップを配り、低学年で**操作活動**(手を動かして考える活動)を取り入れて学習することの大切さを伝えました。

5 私 (STEP5 の実践紹介)



指や棒を使わずに計算をする方法 (例 $8 + 7$) を紹介します。まず 7 を 2 と 5 に分解する。次に 10 ($8 + 2$) を作る。最後に 10 と残りの 5 を足すという方法です (写真参照)。

5 私 (STEP5 の実践紹介)



授業の進め方も紹介します。初めに具体物を使って計算方法を理解する (左写真)。次に数字を使って計算をする (右写真)。最後にたくさん問題を解く (具体 → 抽象 → 習熟) という流れです。

松下 隊員（かけ算の実践紹介）



松下 隊員は、学校でかけ算の計算に力を入れているのでその紹介をしました。授業の初めにかけ算の表（三つの段のみ）を配り、3分で答えを埋め、2分で答え合わせをするという活動です。

ナミビア 隊員



派遣されている隊員がこのように連携をして研修会を開くのは初めてでした。始めは少しプレッシャーを感じていたのですが、終わった時はそれが大きな達成感に変わっていました。

松下 隊員（かけ算の実践紹介）



実際に先生方に表を渡し、児童と同じように問題を解いてもらいました。答え合わせでは全員で答えを読み上げていきます。手・目・口・耳を使って学習することがポイントです。

教頭先生より



次の日、教頭先生より「子供たちがどのステップでつまづいているのか分かるようになった。」と言っていたいただきました。それが子供たちの成長に繋がっていくことを願っています。